

教科 | 技術・家庭(家庭分野) | 学年 | 第 1 学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A 家族・家庭生活 1、自分の成長と家族・家庭生活 ・家庭分野のガイダンス	5	○小学校家庭科の学習をふり返るとともに、3学年間の学習内容の見直しをもつ。 ○各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。 ○自分の成長と家族や地域の人びととのかかわりと自分自身の理解を深める。 ○家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。	・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。	・家族とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・家族とのかかわりについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
B 衣食住の生活 1、目的に応じた衣服の選択	4	○衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ○自分らしい着方を工夫することができる。 ○和服の文化に関心を持ち、和服の着方を知る。	・衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ・目的に応じた着用について理解している。 ・個性を生かす着用について理解している。 ・衣服と社会生活との関わりについて理解している。	・衣服の選択について問題を見いだして課題を設定している。	・衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
2、日常の手入れと保管	4	○自分の衣服計画が立てられ既製服を選ぶポイントがわかる。 ○衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。 ○衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる ○衣服の傷みの状況に合わせた方法で補修ができる。 ○衣服に合わせた方法でアイロンかけや収納・保管を適切に行うことができる。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに適切にできる。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに適切にできる。	・日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定している。 ・日常着の手入れについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・日常着の手入れについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、日常着の手入れについて、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

<p>3、生活を豊かに実践する物の製作</p>	<p>11</p>	<p>○布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ○製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。 ○今まで学習してきた「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の中からほかの内容とも関連させて課題を設定して、課題解決に向けて計画を立て実践できる。 ○実践したことをまとめ、発表し、よりよい生活にするための新たな課題を見つけ次の実践につなげられる。</p>	<p>・製作する物に適した材料や縫い方について理解していると同時に、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 ・これまでの学習を振り返り、改善点や課題はないか生活を見直す。</p>	<p>・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している ・自分や家族の衣生活や環境について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。</p>	<p>・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
<p>4、持続可能な衣生活</p>	<p>1</p>	<p>○資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考える。</p>		<p>・社会や環境に配慮した衣生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した衣生活について考え、工夫している。</p>	<p>・よりよい衣生活を目指して、衣服の選択や手入れ、製作などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
<p>C、消費生活と環境 1、家庭生活と消費</p>	<p>2</p>	<p>○物資とサービスの特徴がわかる。 ○消費生活のしくみがわかる。 ○収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。</p>	<p>・物資・サービスについて理解している。 ・計画的な金銭管理の必要性について理解している。</p>	<p>・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定している。 ・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。</p>	<p>・商品(物資・サービス)の選択と金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

<p>2、購入・支払いと生活情報</p>	<p>2</p>	<p>○店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ○売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。 ○即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。 ○生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。</p>	<p>・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している ・売買契約の仕組みについて理解している。 ・支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</p>	<p>・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。 ・物資・サービスの購入について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。</p>	<p>・計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
<p>3、栄養素の種類と働き、食品に含まれる栄養素</p>	<p>6</p>	<p>・栄養素の種類と働きについてまとめる。 ・中学生に必要な栄養の特徴について考える。 ・食品成分表を使い、身近な食品の栄養的な特徴を調べる。 ・身近な食品を栄養的な特徴により6つの食品群に分類する。</p>	<p>・栄養素の種類と働きについて理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴について理解している。 ・身近な食品の栄養的な特徴について理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。</p>		